

自治体史編さん以降の  
地域史料管理

2018

埼玉県地域史料保存活用連絡協議会

---

## 序

---

埼玉県地域史料保存活用連絡協議会（略称「埼史協」）は、県下の市町村史編さん担当機関の連携組織として、昭和49年（1974）に「埼玉縣市町村史編さん連絡協議会」として産声をあげました。その後、平成3年（1991）に現会名に変更して以来、現在に至っています。

この間、昭和60年（1985）に第1次専門研究委員会を発足して以降、平成9年（1997）の第5次専門研究委員会まで『地域文書館の設立に向けて』と題するブックレットシリーズを全5巻刊行してまいりました。お陰様で、同シリーズは今日まで文書館を地域に設立するための手軽なバイブルとして広く全国で読み継がれ、利用されています。また、平成19年（2007）には、第6次専門研究委員会を組織し、『歴史的公文書収集の現状と評価選別』を刊行しました。平成21年（2009）には公文書管理法が公布されたこともあり、報告書は全国歴史資料保存利用機関連絡協議会ホームページの実務情報リンクバンクに掲載されるなど、全国的にも大きな反響がありました。

また、平成24年（2012）には第7次専門研究委員会を組織し、平成26年（2014）に『地域史料の防災対策』を刊行しました。同書は災害時の被災状況や被災史料のレスキュー活動などにおいて、大変参考になると現場の方々から高い評価をいただいております。

さて、県内では、家の建て替えや蔵の取り壊しなどにより、古文書が散逸する事例が発生しています。散逸した古文書の中には、自治体史編さん時に調査されたものも多数含まれており、編さん後の保存についてアフターケアがなされてこなかったことがその背景にあります。埼史協では、自治体史編さん以降における史料の保存状況や所在確認を行うため、平成28年（2016）に第8次専門研究委員会を組織し、2年間の課題研究を積み重ねた結果、『自治体史編さん以降の地域史料管理』を刊行する運びとなりました。

ここに本書を刊行できますことは誠にうれしい限りです。多くの皆様に本書が利用されますことを切に願います。

末筆ながら、本書の刊行にあたり、御多用の中、アンケートなどに御協力をいただきました各関係機関の皆様に厚くお礼申し上げます。

平成30年3月31日

埼玉県地域史料保存活用連絡協議会  
会 長 杉 山 正 司



## 例 言

1. 本書は、埼玉県地域史料保存活用連絡協議会が実施した自治体史編さん以降の地域史料管理に関する調査報告書である。

2. 調査や研究および報告書の作成は、埼玉県地域史料保存活用連絡協議会第8次専門研究委員会が中心となって行った。その設立経緯は次のとおりである。

平成27年度 第8次専門研究委員会検討会の設置および検討報告

平成28～29年度 第8次専門研究委員会の設置、調査や研究および報告書作成

3. 本書の執筆は、次のとおりである。

第1章	山本あづさ (白岡市教育委員会)
第2章	大橋毅顕 (埼玉県立文書館)
第3章 第1節	金澤花陽乃 (飯能市郷土館)
第2節	巻島千明 (久喜市立郷土資料館)
第3節	水品洋介 (熊谷市教育委員会)
第4節	石川達也 (戸田市立郷土博物館)
第4章 第1節 第1・2項	横内美穂 (宮代町郷土資料館)
第3項	井上知明 (東秩父村教育委員会)
第4項	成川智子 (東松山市立図書館)
第2節 第1項	長谷川清一 (春日部市教育委員会)
第2項	長谷川清一 (同上)
	岩澤浩子 (幸手市教育委員会)
第3項	新井浩文 (埼玉県立文書館)
第5章 第1節	澤村怜薫 (行田市郷土博物館)
第2節	鈴木紀三雄 (行田市郷土博物館)
資料編	折原 覚 (羽生市立郷土資料館)

4. 本書中の表記で埼玉県地域史料保存活用連絡協議会を「埼史協」、専門研究委員会を「専門研」、そして埼玉県立文書館を「文書館」と略した。また、各専門研報告書は「報告書第〇集『〇〇〇〇〇』」と表記した。

5. 本書のレイアウト、ならびに編集は長谷川清一が行った。

6. 本書の作成にあたり、次の諸氏ならびに各機関よりご指導や助言、アンケートの協力、そして、史料の提供を受けた。記して感謝を申し上げます(五十音順、敬称略)。

青木睦 宇高良哲 大友一雄 埼史協会員を含む1県63市町村 常総市  
根岸茂夫 林貴史

---

# 目次


---

序  
例言  
目次  
組織

## 本文編

●第1章	研究課題と専門研究委員会の設立	
第1節	第8次専門研究委員会の発足	1
第1項	平成27年度 第8次専門研究委員会検討会	1
第2節	第8次専門研究委員会の活動	5
第1項	平成28年度の活動	5
第2項	平成29年度の活動	8
●第2章	文書調査員制度の成果と課題	
第1節	文書調査員制度の成果	11
第1項	文書調査員制度の沿革	11
第2項	平成11年度からの文書調査員による所在確認	12
第3項	文書調査員制度で明らかとなった課題	14
第2節	文書調査員研修会	15
第1項	文書調査員研修会の開催経緯	15
第2項	広域調査員による講演	15
第3項	市町村担当者との意見交換から明らかとなった課題	22
第3節	古文書売り立て状況と史料散逸を防ぐ対策	24
第1項	古文書売り立てと市町村への情報提供	24
第2項	古文書に関する相談および県と市町村による連携のあり方	24
●第3章	埼玉県内の古文書所在確認状況	
第1節	埼玉県内の自治体史編さん	27
第1項	県内における自治体史編さんの動向と成果	27
第2節	自治体向けアンケートの実施	32
第1項	アンケートの目的と実施にいたる経緯	32
第2項	アンケートの結果	32
第3項	アンケート結果の分析	35
第3節	刊行物アンケートの実施	36
第1項	アンケートの目的と実施にいたる経緯	36
第2項	アンケートの結果	36
第3項	アンケート結果の分析	38

# 目次

第4節	自治体の現状と課題	38
●第4章	古文書担当職員および所蔵者向けの地域史料管理マニュアル	
第1節	地域史料の保存と日常管理	43
第1項	地域史料の保存に必要なこと	43
第2項	自治体向けの管理マニュアル	46
第3項	所蔵者向けの管理マニュアル	54
第4項	所有者への連絡のあり方について	58
第2節	災害など非常時における対応	69
第1項	災害発生時の初期対応	69
第2項	被災自治体の対応とレスキュー	74
第3項	県内外の文化財レスキュー（ネットワーク）の状況	75
●第5章	第8次専門研究委員会の活動と埼玉協の今後の役割	
第1節	第8次専門研究委員会活動の総括	81
第1項	専門研究委員会活動の役割	81
第2項	専門研究委員会活動の成果	81
第2節	埼玉協の活動と今後の役割	83
第1項	現在、そしてこれからの自治体史編さん	83
第2項	埼玉協の活動と今後の役割	84
		
1	第8次専門研究委員会検討会	87
2	第8次専門研究委員会設置要項	89
3	第8次専門研究委員会の活動記録	90
4	平成28年度 文書所在調査アンケート	91
5-1	文書所在調査アンケート集計結果	94
5-2	文書所在調査刊行物アンケート集計表	96
6	埼玉県自治体史編さん年次表	98
7	古文書売り立て目録収載史料（平成27～29年度）	100
8	参考・引用文献	108
●編集後記		109

## 組 織

### 埼玉県地域史料保存活用連絡協議会 役員（平成 28 ～ 29 年度）

**顧問** 吉本 富男（埼玉県地域史料保存活用連絡協議会元会長）  
**会長** 杉山 正司（埼玉県立文書館）  
**副会長** 小島 美香（さいたま市総務課アーカイブズセンター：平成 28 年度）  
大里 昌宏（さいたま市総務課アーカイブズセンター：平成 29 年度）  
鈴木紀三雄（行田市郷土博物館）

#### 理 事

南 部 細井 薫子（戸田市立郷土博物館）  
西 部 尾崎 泰弘（飯能市郷土館）  
西 部 関口 正幸（滑川町教育委員会）  
北 部 林 富司夫（長瀬町教育委員会）  
北 部 野口 泰宣（本庄市教育委員会：平成 28 年度）  
北 部 金子 彰男（神川町教育委員会：平成 29 年度）  
北 部 森田 安彦（熊谷市教育委員会：平成 28 年度）  
北 部 吉野 健（熊谷市教育委員会：平成 29 年度）  
東 部 堀内 謙一（久喜市教育委員会：平成 28 年度）  
東 部 岸本 光子（八潮市教育委員会：平成 29 年度）  
東 部 小沼 幸雄（杉戸町教育委員会）

#### 幹 事

長谷川清一（春日部市教育委員会）  
横内 美穂（宮代町郷土資料館）  
新井 浩文（埼玉県立文書館：事務局）

#### 監 事

原 太平（幸手市教育委員会）  
米山 幸代（草加市教育委員会）

#### 事務局

金子 雅則（埼玉県立文書館）  
森内 優子（埼玉県立文書館：平成 28 年度）  
佐藤 美弥（埼玉県立文書館）  
大橋 毅顕（埼玉県立文書館）  
高田 智仁（埼玉県立文書館：平成 29 年度）

## 組 織

### 埼玉県地域史料保存活用連絡協議会 第8次専門研究委員会検討会 委員（平成27年度）

- 【座 長】 埼玉史協副会長：鈴木紀三雄  
(行田市郷土博物館)
- 【委 員】 埼玉史協幹事：長谷川清一  
(春日部市教育委員会)
- 【委 員】 埼玉史協幹事：正 士 梓  
(三郷市教育委員会)
- 【委 員】 埼玉史協幹事：新井浩文  
(埼玉県立文書館)
- 【事務局】 埼玉史協事務局：金子雅則  
(埼玉県立文書館)
- 【事務局】 埼玉史協事務局：森内優子  
(埼玉県立文書館)
- 【事務局】 埼玉史協事務局：井上かおり  
(埼玉県立文書館)
- 【事務局】 埼玉史協事務局：大橋毅顕  
(埼玉県立文書館)
- 【事務局】 埼玉史協事務局：高田智仁  
(埼玉県立文書館)



第8次専門研究委員会検討会（埼玉県立文書館）



## 組 織

### 埼玉県地域史料保存活用連絡協議会 第8次専門研究委員会 委員（平成28～29年度）

- 【座 長】 山本あづさ（白岡市教育委員会）
- 【副座長】 澤村 怜 薫（行田市郷土博物館）
- 【委 員】 高鳥 邦 仁（羽生市立郷土資料館：平成28年度）
- 【委 員】 成川 智 子（東松山市立図書館）
- 【委 員】 岩澤 浩 子（幸手市教育委員会）
- 【委 員】 巻島 千 明（久喜市立郷土資料館）
- 【委 員】 金澤花陽乃（飯能市郷土館）
- 【委 員】 井上 知 明（東秩父村教育委員会）
- 【委 員】 石川 達 也（戸田市立郷土博物館）
- 【委 員】 水品 洋 介（熊谷市教育委員会）
- 【委 員】 長谷川清一（春日部市教育委員会）
- 【委 員】 横内 美 穂（宮代町郷土資料館）
- 【委 員】 鈴木紀三雄（行田市郷土博物館）
- 【委 員】 新井 浩 文（埼玉県立文書館）
- 【委 員】 大橋 毅 顕（埼玉県立文書館）
- 【委 員】 折原 覚（羽生市立郷土資料館：平成29年度）



第8次専門研究委員会会議風景（春日部市）